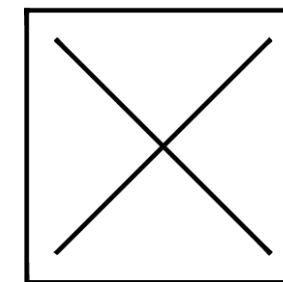


渋谷



ちがいを
ちからに
変える街

平成31年度（2019年度）

渋谷区 当初予算案の概要



目次		頁
当初予算案概要		2
個別事業説明		6
1	防犯カメラ設置拡充による安全・安心の確保	D 防災・安全・環境・エネルギー分野 7
2	渋谷駅周辺小規模施設に対するバリアフリー化推進助成	B 福祉分野 9
3	あらゆる人に魅力が伝わる公共サイン	E 空間とコミュニティのデザイン分野 11
4	路上及び公園等の喫煙対策	D 防災・安全・環境・エネルギー分野 13
5	渋谷区子育てネウボラ 2019年5月スタート	A 子育て・教育・生涯学習分野 15
6	渋谷区こどもテーブル事業景丘の家開設	A 子育て・教育・生涯学習分野 19
7	待機児童対策（事業シートのみ）	A 子育て・教育・生涯学習分野 21
8	渋谷区立全小中学校のコミュニティ・スクール化	A 子育て・教育・生涯学習分野 23
9	放課後クラブにおけるクラブ事業の充実	A 子育て・教育・生涯学習分野 25
10	渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ	B 福祉分野 27
11	生活保護受給中の子どもの学習支援事業	B 福祉分野 29
12	障害のある人の就労支援・雇用拡大	B 福祉分野 31
13	キャッシュレス決済導入促進事業	G 産業振興分野 33
14	2020年に向けた、気運醸成とおもてなし事業	C 健康・スポーツ分野 35
15	本町地区防災都市づくりグランドデザインの策定	D 防災・安全・環境・エネルギー分野 37
16	新・渋谷公会堂の開設	F 文化・エンタテインメント分野 39
17	区議会のICT化（事業シートのみ）	H 区政運営のあり方 41
資料集		42

当初予算案概要

平成31年度当初予算の編成 にあたって（考え方）

本区は、渋谷区基本構想のもと、「ちがいをちからに変える街。渋谷区」をキャッチフレーズに、『成熟した国際都市』を目指しています。

その原動力となるのが「ダイバーシティとインクルージョン」の理念です。『成熟した国際都市』実現のためには、渋谷区に集まるすべての人の多様性をエネルギーに変え、本区が持続的成長を遂げていく施策を積極的に展開していく必要があります。

本書にお示しする平成31年度当初予算案は、こうした考えのもと、誰もが自分らしく生きられる共助社会・共生社会の実現を基本とし、防災・防犯・環境分野に重点を置きつつ、子育て支援・教育・福祉施策の充実、未来への活力と新たな魅力創出につながる街づくりの推進を重点課題として編成しました。

先月15日には新庁舎が開庁し、関連窓口の集中レイアウト等により来庁者の利便性向上を図るとともに、ICT化やオフィスデザインによる職員のワークスタイル改革を推進しています。これら取り組みにより、組織の機動性や効率性を高め、各種施策の実効性を一層高めていきます。

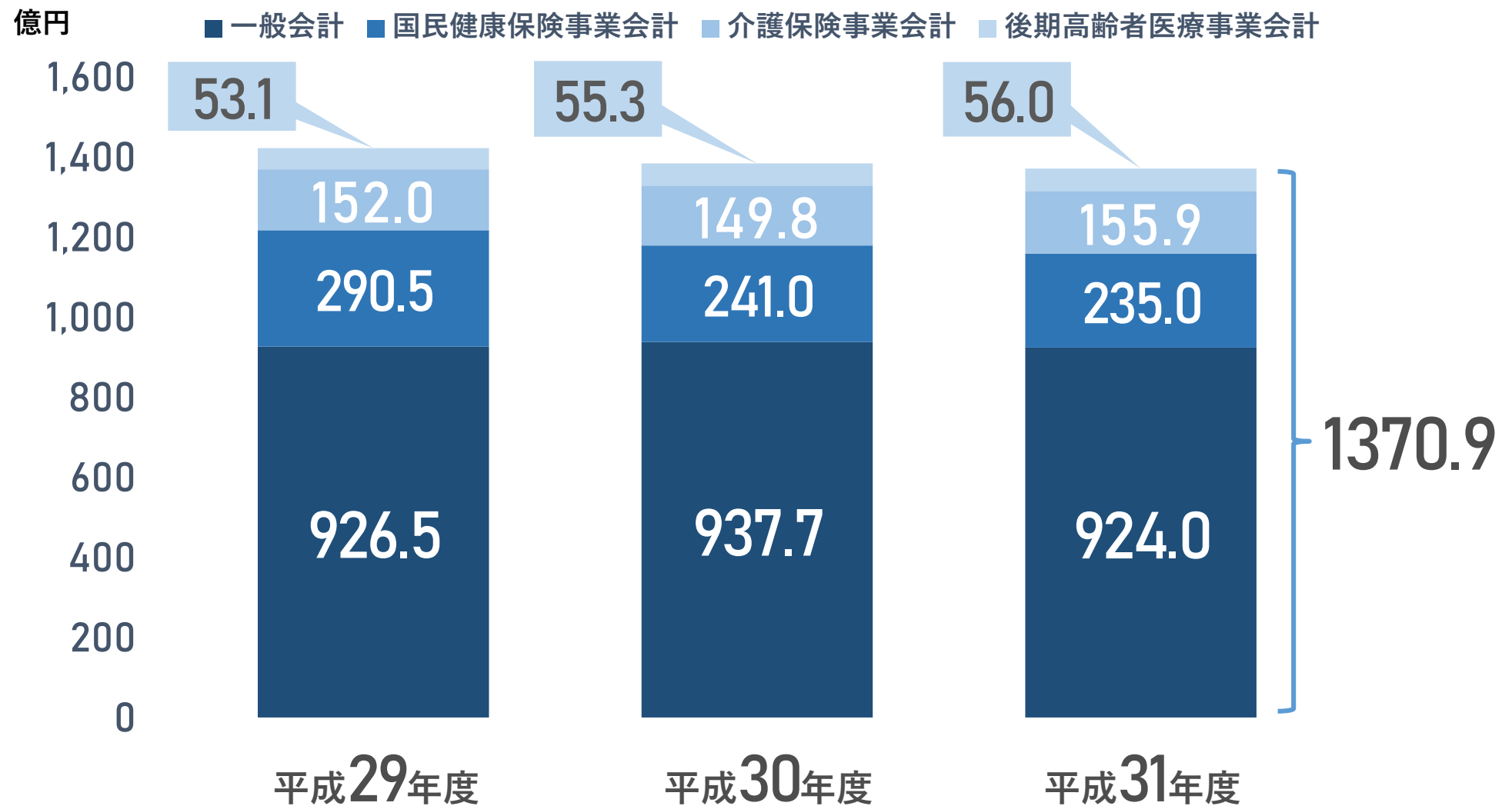
数々の施策実施に当たっての財政的裏付けは、主として堅調な伸びが見込まれる特別区民税収等に求め、基金と起債の活用を控えています。これは、少子高齢化対策や公共施設・インフラの老朽化対応等に伴う今後の歳出圧力の高まりに備え、中長期にわたる施策展開を支える強固な財政基盤を構築するためです。

これらの考えを総合的に勘案し予算編成を慎重に進めた結果、一般会計予算総額は923億9,500万円となり、対前年度比1.5%の減となっています。

今後も、区民の皆様がいきいきと安全安心に住み続けられることができるように、また、様々な魅力を発信していく街としてさらなる成長を遂げられるよう、区政運営に積極果敢に取り組んでまいります。

財政規模

図1：各会計予算規模推移



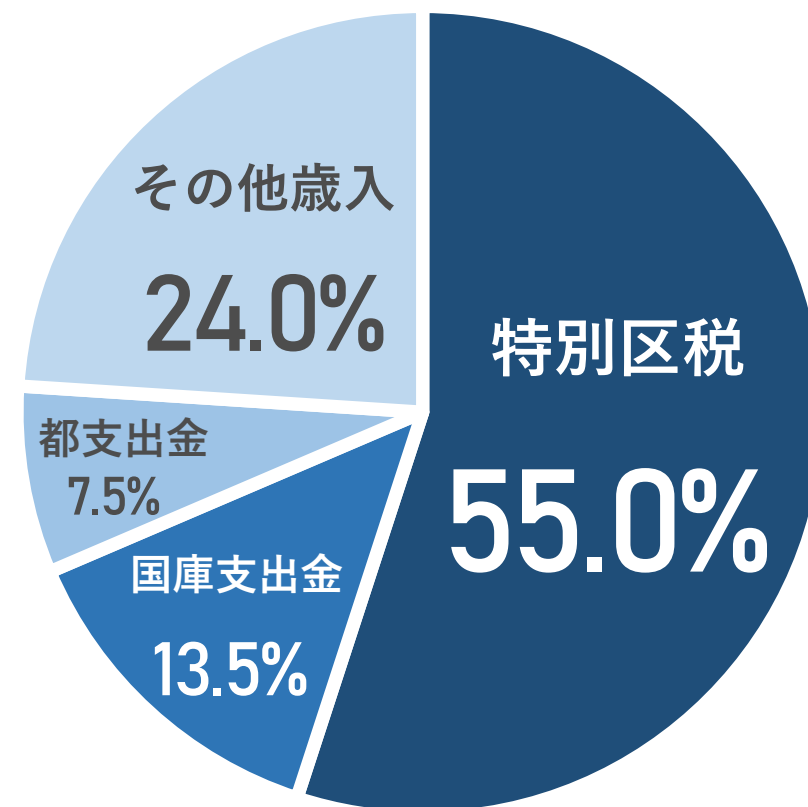
歳入内訳

表1：一般会計歳入内訳表

【一般会計】

	平成31年度 (億円)	前年比 (%)
特別区税	508.4	3.6
国庫支出金	125.1	4.9
都支出金	69.0	10.3
その他の歳入	221.5	△16.4
総計	924.0	△1.5

図2：一般会計歳入内訳構成比

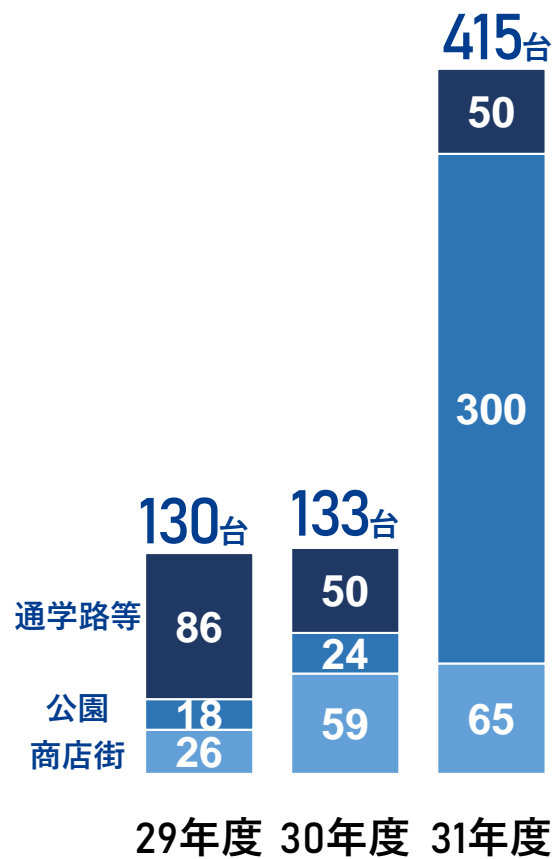


個別事業説明

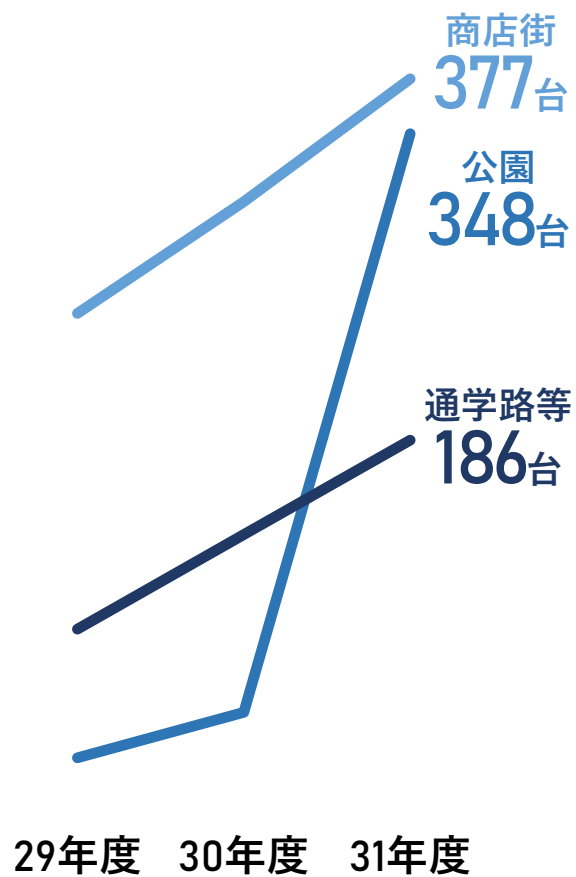
防犯カメラ設置拡充による 安全・安心の確保

区民や来街者の安全・安心のため、防犯カメラを更に415台増設するとともに、監視を周知し、犯罪抑止力の向上を図る。ハロウィーン対策のための検討会を組成する。

防犯カメラ年度別増設台数



防犯カメラ設置累計台数



平成31年度 区内防犯カメラ
増設**415**台 累計**911**台

ハロウィーン検討会設置




ハロウィーン等の大規模イベントにおいても、区民や来街者が安心して楽しめる方策を検討。

第1回ハロウィーン検討会
2019年2月下旬開催

平成31年度当初予算案事業シート

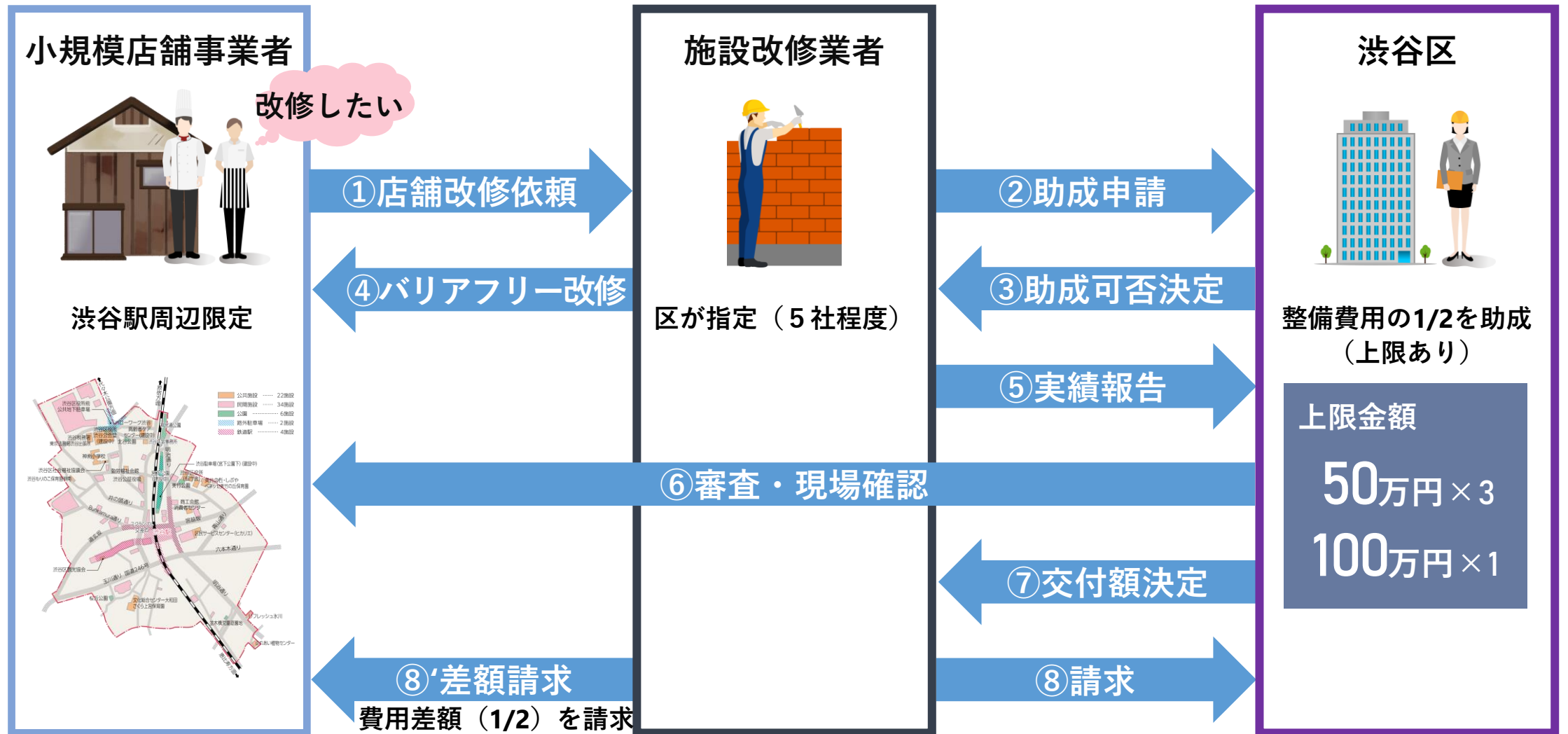
基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
人のつながりと意識が未来を守る街へ。	D【G】
事業名	予算
防犯カメラの設置	1億4,600万円

事業目的	事業概要
<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を翌年に控え、ホストシティである渋谷区には、今後、国内外から多くの人々が訪れることが予想され、渋谷区基本構想の重点項目となっている「区民や来街者の安全・安心の確保」が、喫緊の課題となっている。</p> <p>そこで、通学路や区立公園、繁華街はもとより、東京2020大会の関連施設、イベント等の開催場所、ソフトターゲットとなり得る場所を中心に、防犯カメラを無駄なく効率的に設置し、犯罪やテロを起こさせない「安全・安心なまちづくり」を推進する。</p>	<p>平成29年度までに、児童の安全を確保することを目的に、区立小学校全18校の通学路に、1校あたり5台の防犯カメラを設置した（合計90台）。</p> <p>来年の東京2020大会に向けて、区内の各地域における安全確保とともに、安全で安心な都市基盤の充実を図るべく、平成30年度及び31年度の2年間で100台の防犯カメラを必要箇所に設置することとし、平成31年度については、その2分の1に当たる50台を設置する。更に、区立公園等への設置拡充、商店街への防犯カメラ設置助成も行う。</p> <p>1 区立小学校通学路への防犯カメラ設置の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪発生状況等を踏まえた戦略的な設置 ・ 学校関係者、地域の町会等の要望等への配慮 <p>2 東京2020大会へ向けた防犯カメラ設置の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京2020大会の各競技会場周辺の観客等の動線等に配慮 ・ 大規模集客施設等のいわゆるソフトターゲットとなり得る場所への設置 <p>3 区内の防犯カメラ設置状況の一元管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦略的かつ効率的な設置に向けた警察署をはじめとする関係機関との連携強化及び関連情報の一元管理 <p>4 区立公園等への防犯カメラ設置の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区内約100ヶ所の区立公園等に約300台のカメラを設置。 <p>5 商店街への防犯カメラ設置（新規・拡充・更新）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区内9商店街に65台分のカメラ設置を補助。
<p>特記事項</p> <p>区民や来街者の安全・安心を確保するため通学路等を中心に防犯カメラの設置により、区内の防犯体制の強化を図る。</p>	

担当	危機管理対策部安全対策課長 隈本 3463-1596 土木部緑と水・公園課長 石川 3463-2874 区民部商工観光課長 本間 3463-1761	関連資料の有無	無
----	---	---------	---

渋谷駅周辺小規模施設に対する バリアフリー化推進助成

渋谷駅周辺に存在する多数の小規模施設（店舗）がバリアフリーを目指す上で最大の懸念である経済的負担を軽減。区が工事内容を担保しつつバリアフリーが実現された施設を拡大。



平成31年度当初予算案事業シート

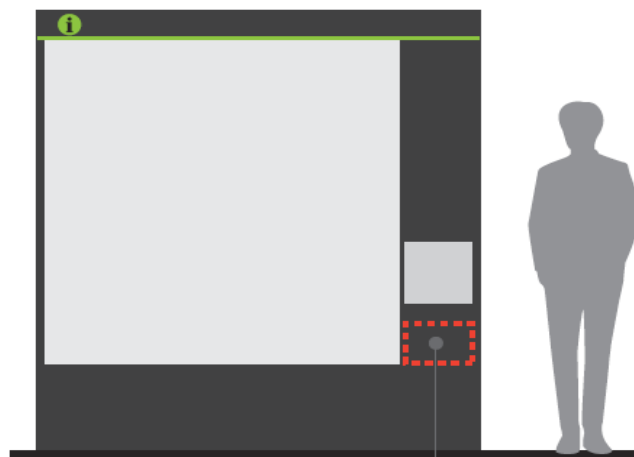
基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。	B【E】
事業名	予算
渋谷駅周辺小規模施設に対するバリアフリー化推進助成	250万円

事業目的	事業概要
<p>渋谷駅周辺地区の小規模施設バリアフリー化改修工事費の一部助成を実施することで、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けておもてなしの向上に努める。</p>	<p>東京2020大会の開催に向けて、渋谷駅周辺地区の小規模施設を対象にバリアフリー化工事費用の一部助成を実施する。「あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。」を実現し、高齢者や障害者等を含めすべての人が買い物や飲食、医療等で身近な施設を訪れられるような環境の整備に努める。</p> <p>【バリアフリー化工事の例】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="922 864 1625 1496"> </div> <div data-bbox="1635 864 2364 1496"> </div> </div>
特記事項	

担当	都市整備部都市基盤整備担当課長 石亀 3463-2629	関連資料の有無	無
----	------------------------------	---------	---

あらゆる人に魅力が伝わる 公共サイン

国内外から訪れる多くの方々が、渋谷を巡り歩いて楽しめるような公共サインを整備。サイン表記においては外国人や高齢者、視覚障害者の方へも配慮した設計、デザインとする。



問い合わせ電話番号

車いす利用者にも見やすい設計。
コントラストを意識した色彩。



気づきを促す「iマーク」。



ピクトグラムによる情報伝達。
外国人のために英語を併記。

平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
愛する場所と仲間を、誰もがもてる街へ。	E【B】
事業名	予算
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けたサイン整備	1億3,700万円

事業目的	事業概要
<p>国内外からの来街者が、目的地まで迷わずにたどり着けるように、誰にとっても見やすく、わかりやすい公共サインの整備を行う。本事業により、東京2020大会開催時やその後の案内向上に努める。</p>	<p>渋谷区では、平成30年3月に渋谷区公共サインガイドラインを策定した。東京2020大会の開催を前に「誰もがめぐる歩いて楽しい魅力ある街」の実現に向け、渋谷駅周辺地区と原宿駅・千駄ヶ谷駅周辺地区にて公共サインの整備を進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋谷駅周辺地区13基設置（予定） ・原宿駅・千駄ヶ谷駅周辺地区39基設置（予定） <p>(イメージ図)</p> 
特記事項	

担当	都市整備部都市基盤整備担当課長 石亀 3463-2629	関連資料の有無	無
----	------------------------------	---------	---

路上及び公園等の喫煙対策

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向け「きれいなまち渋谷をみんなで作る条例」を改正し、路上等での喫煙を禁止し、違反者から過料を徴収することで、喫煙対策の強化を図る。



※改正内容は今後変更となる可能性があります。

平成31年度当初予算案事業シート

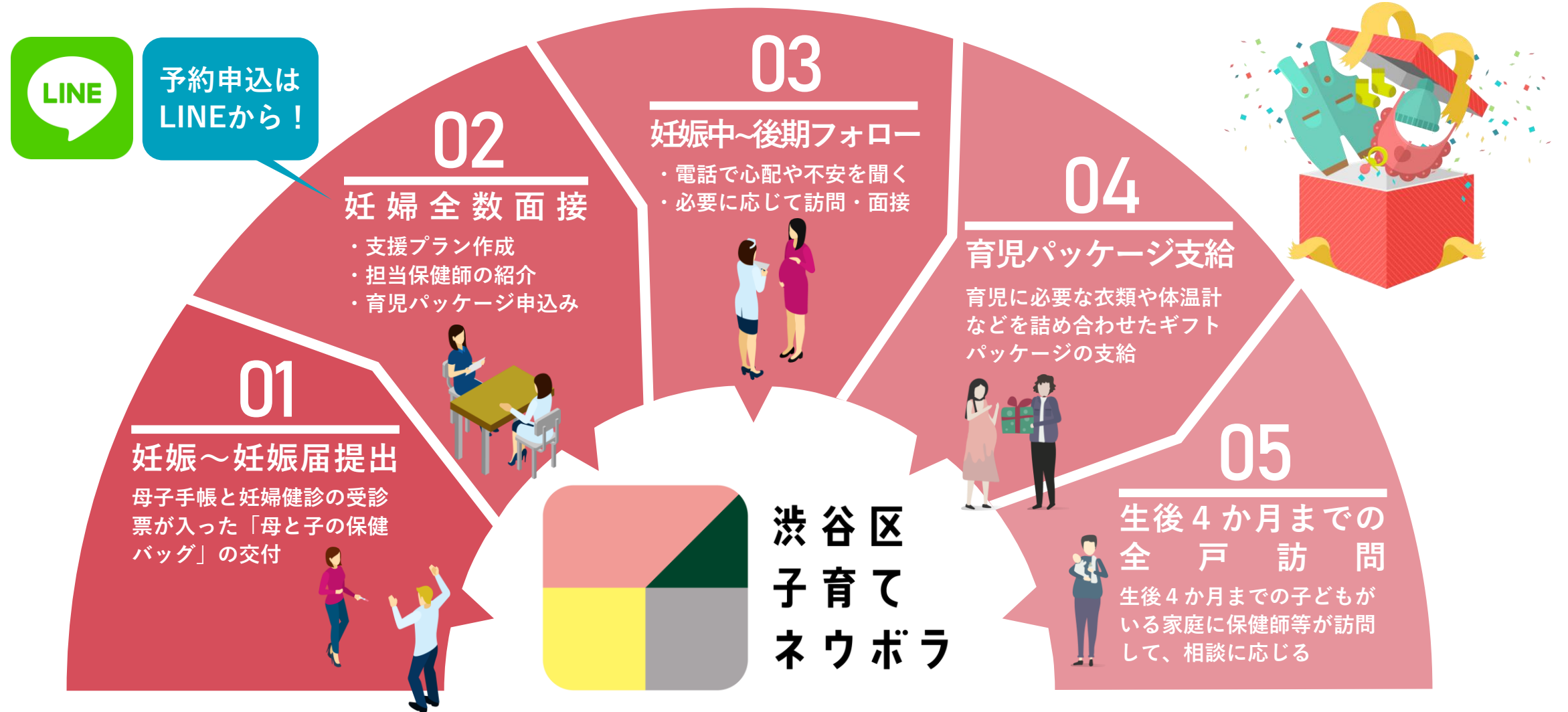
基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
人のつながりと意識が未来を守る街へ。	D
事業名	予算
「路上&公園等の喫煙対策」	1億2,100万円

事業目的	事業概要
<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、本区においても日本国内および海外からも多くの来街者が訪れることが予想されるため、「きれいなまち渋谷をみんなで作る条例」を改正し、受動喫煙につながる路上&公園等を全面禁煙とし、違反者から過料を徴収することで、路上等の喫煙対策強化を図る。</p>	<p>●スケジュール：平成31年3月 「きれいなまち渋谷をみんなで作る条例」の改正予定 平成31年4月 同条例施行（罰則規定の一部は、7月に施行予定）</p> <p>●対象地区：区内全域の公共の場所等（道路・公園・広場等）</p> <p>●実施方法： ①同条例を改正し、区内全域の公共の場所等について「全面禁煙」とする（全面禁煙化に向けて最終調整中）。 ②分煙指導員を26名増員し、30名体制により、周知期間に条例改正のPR活動及び喫煙に関する注意指導（指定喫煙所への誘導を含む）を行う。 ③条例施行後は、取締りを行い、違反者には「過料」を科す。</p> <p>●平成31年度以降：継続した取締りを行い、効果の検証を行う。</p>
特記事項	
<p>●区内全域の公共の場所等で全面禁煙を目指す</p>	

担当	環境政策部環境政策課長 國副 3463-2748	関連資料の有無	無
----	--------------------------	---------	---

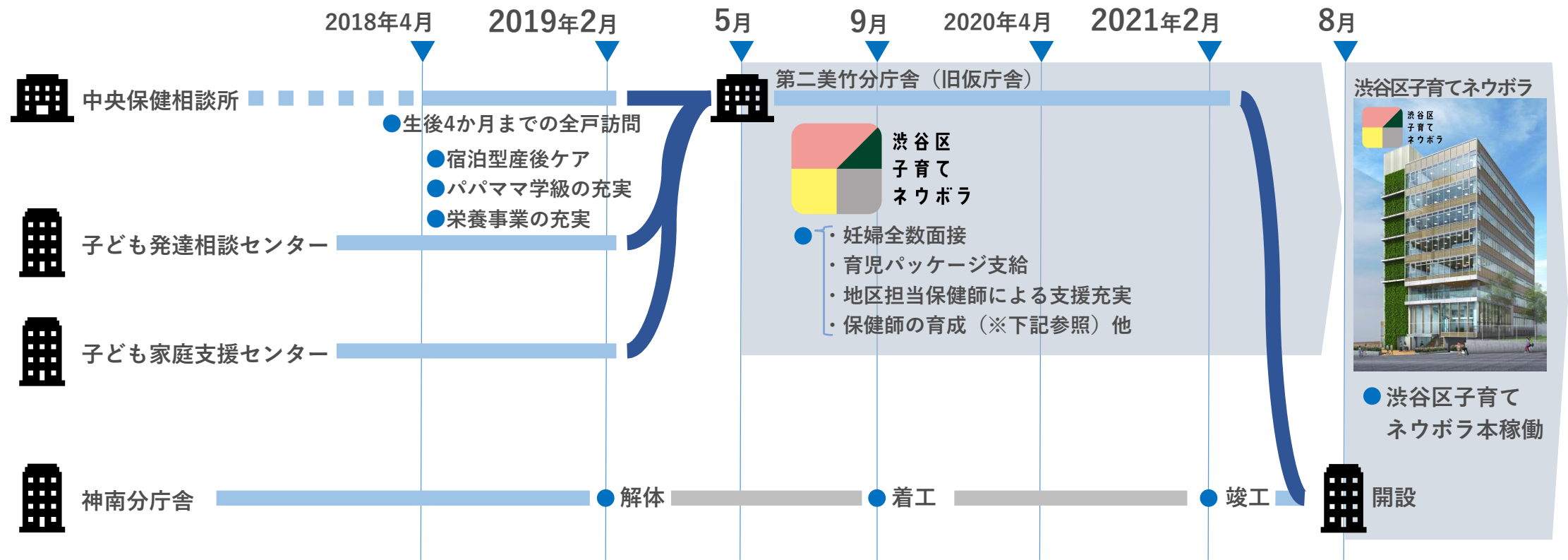
渋谷区子育てネウボラ 2019年5月スタート

すべての妊婦に対する面接を行い、支援プランを作成して出産後の育児支援や心の健康維持を図る。さらに育児パッケージの無料支給も開始する。



渋谷区子育てネウボラ ロードマップ

子ども・子育て関連部署は、2021年8月の渋谷区子育てネウボラ開設に向けて段階的に統合化を図り、子育てステージを通じた切れ目のない支援を推進していく。



▼保健師の育成

- ・ 大学と連携した助産師講師等による面接技術の向上
- ・ ネウボラに重点を置いた育成計画の策定
- ・ 専門分野外からの講師派遣 (マネジメント等)

▼渋谷区子育てネウボラ



平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
それぞれの成長を、一生よろこべる街へ。	A【C、H】
事業名	予算
渋谷区子育てネウボラ	4億7,800万円

事業目的	事業概要
------	------

核家族化が進む中、妊娠・出産・子育てをするうえで、困ったときに気軽に相談できる相手が求められている。

全ての妊婦と面接をすることによって、妊娠期から相談しやすい保健相談所を目指す。

併せて、面接を受けた妊婦に対して、渋谷区からの祝福と新生児を迎える準備として育児パッケージを贈呈する。

また、いつでも面接予約ができるようにLINEによる予約システムを導入する。

地区担当保健師が全ての妊婦と面接をすることで、気軽に相談できる相手としての認識を高め、妊娠期からのあらゆる相談を一元的に受けるとともに、コーディネーターとして関係機関との連携を図る。

面接の予約については、すでに子育てに関する情報配信やAI自動応答等で多くの子育て世帯に利用されているLINE公式アカウントからシームレスに予約ができるシステムを導入し、いつでも手軽に予約ができる環境を整備する。

区から育児に必要な衣類や体温計などを詰め合わせたギフトパッケージを贈呈し、出産・子育てをサポートする。

また、ターゲットとなる「子育て中もしくは子育てに関心のある渋谷区民」に対して、渋谷区独自の取り組みや、まだ馴染みのない「ネウボラ」という言葉に興味をもってもらい、その考え方やサービスについてわかりやすく紹介するための子育てネウボラコンテンツを構築し、情報発信を行う。

2019年5月 第二美竹分庁舎において「渋谷区子育てネウボラ」サービス開始。
複数箇所に点在する子育て関連部署を一か所に集め、効率化及び連携強化などを図る。

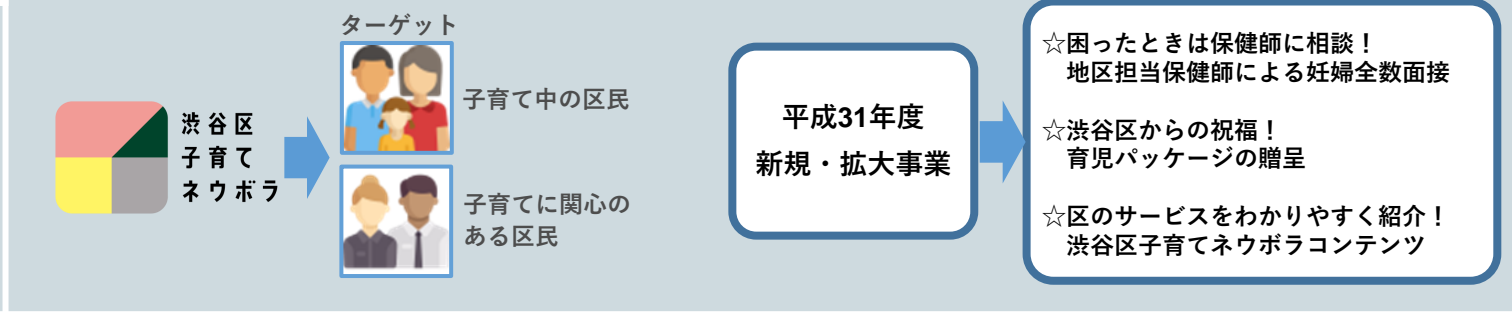
2021年8月 神南分庁舎跡地に「渋谷区子育てネウボラ」を開設。
「出会う、集う、語る、つながる」をキーワードに地域みんなで子どもを育てるための気軽に立ち寄れる複合施設として建設する。

特記事項

LINEと連携した予約システムは23区初。

非常勤に頼らない地区担当保健師による妊婦全数面接は23区初の試みである。

本場フィンランドのネウボラを参考に、渋谷区独自の子育て支援・健康相談・専門相談を一体とした施設を設置。



担当	健康推進部生活衛生課長 豊田 3463-2204 経営企画部経営企画課長 奥野 3463-1182 健康推進部地域保健課長 後藤 3463-2389	関連資料の有無	無
----	---	---------	---

渋谷区こどもテーブル事業 景丘の家開設

2019年3月「景丘の家」を開設。食事を共有する場の提供や、居場所づくりや学習支援等を通して、多世代と交流しながら子どもたちを地域で支える活動の強化を図る。

渋谷区
こどもテーブル
KODOMO TABLE

景丘の家

KAGEOKA NO IE

2019年3月オープン

こどもテーブルの総本山として
活動の強化を図る



項目	2018年4月	2019年4月
子ども食堂	12	35
活動団体数	20	35
居場所・学習支援	12	35

平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
それぞれの成長を、一生よろこべる街へ。	A
事業名	予算
渋谷区こどもテーブル	5,600万円

事業目的	事業概要
<p>親、学校だけでなく、地域の大人たちも子どもを育てていく。現代の子どもたちが抱える様々な問題へ、知恵や体験の支援という新しいサポートの形を、地域の力で実現していく。</p> <p>「景丘の家」は、赤ちゃんからお年寄りまで集える場所として、また、こどもテーブルスペースの整備や、こどもテーブルの総本山として活動の強化を図る。</p>	<p>●こどもテーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋谷区こどもテーブルは、地域の大人が、食事だけでなく学習支援やワークショップを通じて、子どもたちの支援と新しい知恵・体験を提供する第3の居場所事業。 ・2017年度より開始し、2019年度中に区内100ヶ所での実施を目指す。 ・2019年3月開設予定の「景丘の家」では、土間や囲炉裏、乳幼児スペースやスタジオなど、世代を超えた交流ができる場所として整備する。キッチン&ダイニングスペースでは週2~3回のこどもテーブルを、また様々なワークショップを開催し、子どもたちの居場所として活用していく。また新たにこどもテーブルを始めたい方の相談など、渋谷区こどもテーブルの中心的な役割を担い、活動の拡大に努めていく。 <p>●景丘の家概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在地：渋谷区恵比寿 4 - 4 - 15 ・施設規模：延床面積 725㎡ ・施設概要：B2Fから3Fの5層構造 <ul style="list-style-type: none"> 1Fは囲炉裏を設置し、多世代の交流スペースとして完備 2Fはキッチンがあり、食事提供を目的としたこどもテーブルとして活用 ・開設予定：平成31年3月
特記事項	
<p>「景丘の家」はこどもテーブルの総本山として活動の強化を図る。</p>	

担当	子ども家庭部子ども青少年課長 加藤 3463-2532	関連資料の有無	無
----	-----------------------------	---------	---

平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
それぞれの成長を、一生よろこべる街へ。	A
事業名	予算
待機児童対策	27億400万円

事業目的	事業概要						
<p>待機児童解消に向けて、平成31（2019）年度は、新規保育施設整備により認可定員を436人拡大する。賃借物件を活用した保育施設への賃借料補助の拡充を図り、地域バランスを考慮した保育施設整備のスピードをさらに加速させる。また、施設整備に限ることのない多様な待機児童対策を進める。</p> <p>【待機児童数の推移】</p> <table border="1"> <tr> <td>平成28年4月</td> <td>315人</td> </tr> <tr> <td>平成29年4月</td> <td>266人</td> </tr> <tr> <td>平成30年4月</td> <td>151人</td> </tr> </table>	平成28年4月	315人	平成29年4月	266人	平成30年4月	151人	<p>●保育施設整備計画・定員拡大（予定）</p> <p>【平成31（2019）年度】定員436人増（ ）内は定員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月開設〔定員160人増〕 さくらさくみらい笹塚（80人）、美希保育園北参道（80人） ・7月開設〔定員19人増〕（仮称）恵比寿一丁目小規模保育施設（19人） ・10月開設〔定員257人増〕（仮称）千駄ヶ谷五丁目保育施設（63人）、（仮称）初台二丁目保育施設（71人）、（仮称）笹塚二丁目保育施設（123人） <p>【平成32（2020）年度】4月開設予定 3施設</p> <p>●賃料補助の拡充（期間は10年間）</p> <p>保育施設整備をさらに加速させるため、平成31(2019)年度中に着工し、平成32(2020)年度以降に開園する賃借物件を活用した保育施設に対して、開設後5年目までに限り、賃料の年間補助額を最大3,000万円（月額補助単価1万円/坪）から4,500万円（月額補助単価1.5万円/坪）に、引き上げる。</p> <p>●その他の多様な待機児童対策</p> <p>新設園の空きスペースを活用した期間限定型保育、居宅訪問型保育（ベビーシッター派遣）、企業主導型や認可外保育施設における待機児童枠の確保、認可外保育利用者に対する保育利用料の一部助成等、多様な手法による待機児童対策</p>
平成28年4月	315人						
平成29年4月	266人						
平成30年4月	151人						
特記事項							

担当	子ども家庭部保育施設緊急整備担当課長 堀江 3463-2546 子ども家庭部保育課長 田中 3463-2477	関連資料の有無	有
----	---	---------	---

区内保育施設 児童定員の推移（平成27年度～平成33年度）

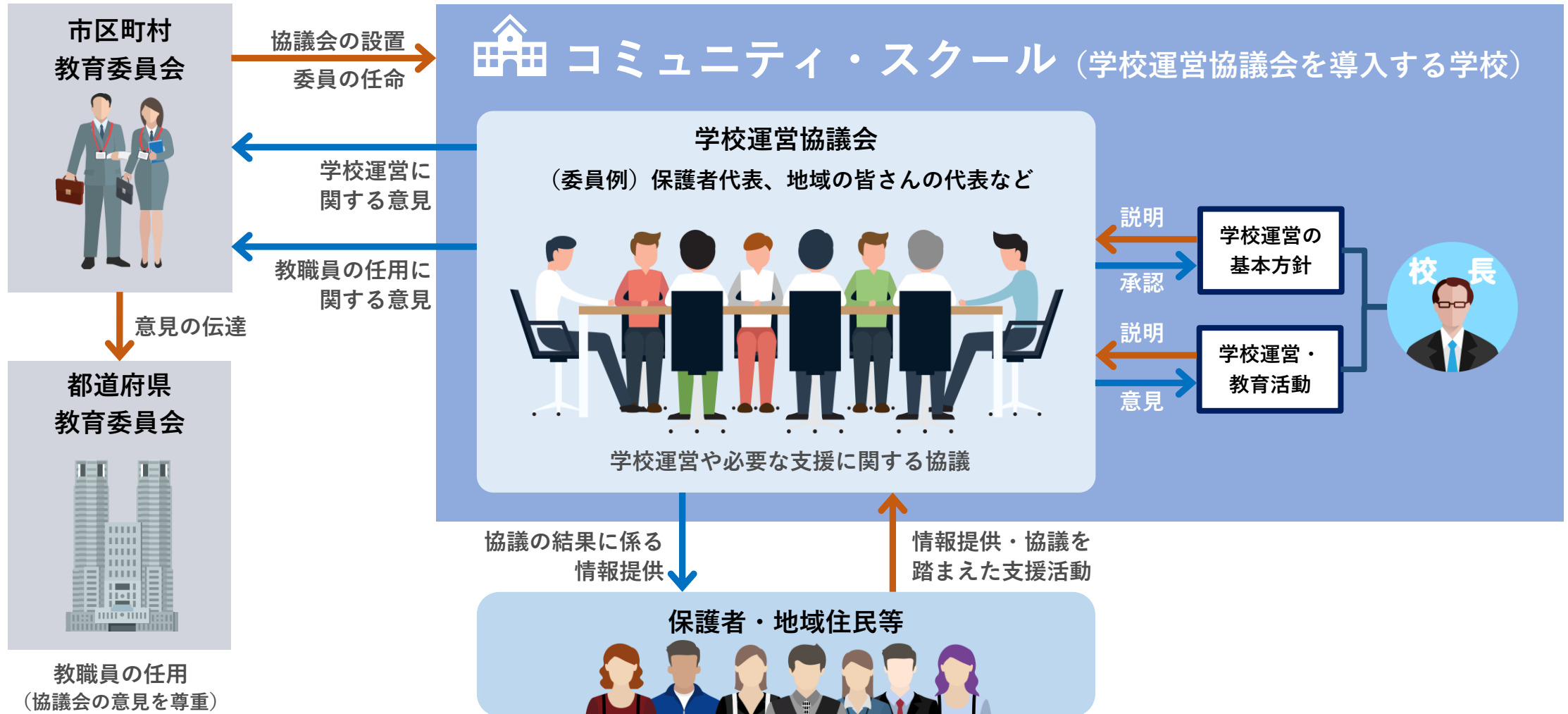
（単位：人）（待機児童数：4月1日現在）

年度／施設	認可				認可外・地域型保育等								合計 (定員)	対前年 増減 (定員)	待機 児童数	備 考
	区立	私立	認定 こども園	計 (定員)	区立 幼保	認証 保育所	私立 保育室	区立 保育室	認可外施設 待機児受入	企業主導型 (地域枠)	小規模 保育事業	居宅訪問型 保育事業				
平成27年度	1,746	811	759	3,316	88	252	29	349	30				4,064	369	252	新設：私立1園、区立保育室1園
平成28年度	1,668	1,091	848	3,607	88	252	29	387	37				4,400	336	315	新設：私立3園、こども園1園、区立保育室1園
平成29年度	1,697	1,552	1,063	4,312	88	252	29	460	39	12	19	10	5,221	821	266	新設：私立6園、こども園2園、小規模1園
平成30年度	1,697	2,198	1,171	5,066	88	252	29	379	39	12	19	12	5,896	675	151	新設：私立7園、こども園1園
増減 (30-27)	△ 49	1,387	412	1,750	0	0	0	30	9	12	19	12	1,832			
平成31年度 (2019)	1,718	2,641	1,177	5,536	88	252	29	328	39	14	38	12	6,336	440		新設：私立5園、小規模1園
平成32年度 (2020)	1,741	2,936	1,177	5,854	88	252	29	254	39	14	56	12	6,598	262		新設：私立3園、小規模1園
平成33年度 (2021)	1,741	3,049	1,177	5,967	88	252	29	254	39	14	56	12	6,711	113		新設：私立1園
増減 (33-30)	44	851	6	901	0	0	0	△ 125	0	2	37	0	815			
増減 (33-27)	△ 5	2,238	418	2,651	0	0	0	△ 95	9	14	56	12	2,647			

※既存園の増減も含む

渋谷区立全小中学校の コミュニティ・スクール化

学校と地域が同じ立場で連携・協働しながら、地域の人々の理解と協力を得た学校運営を実現するコミュニティ・スクールの拡大を図る。

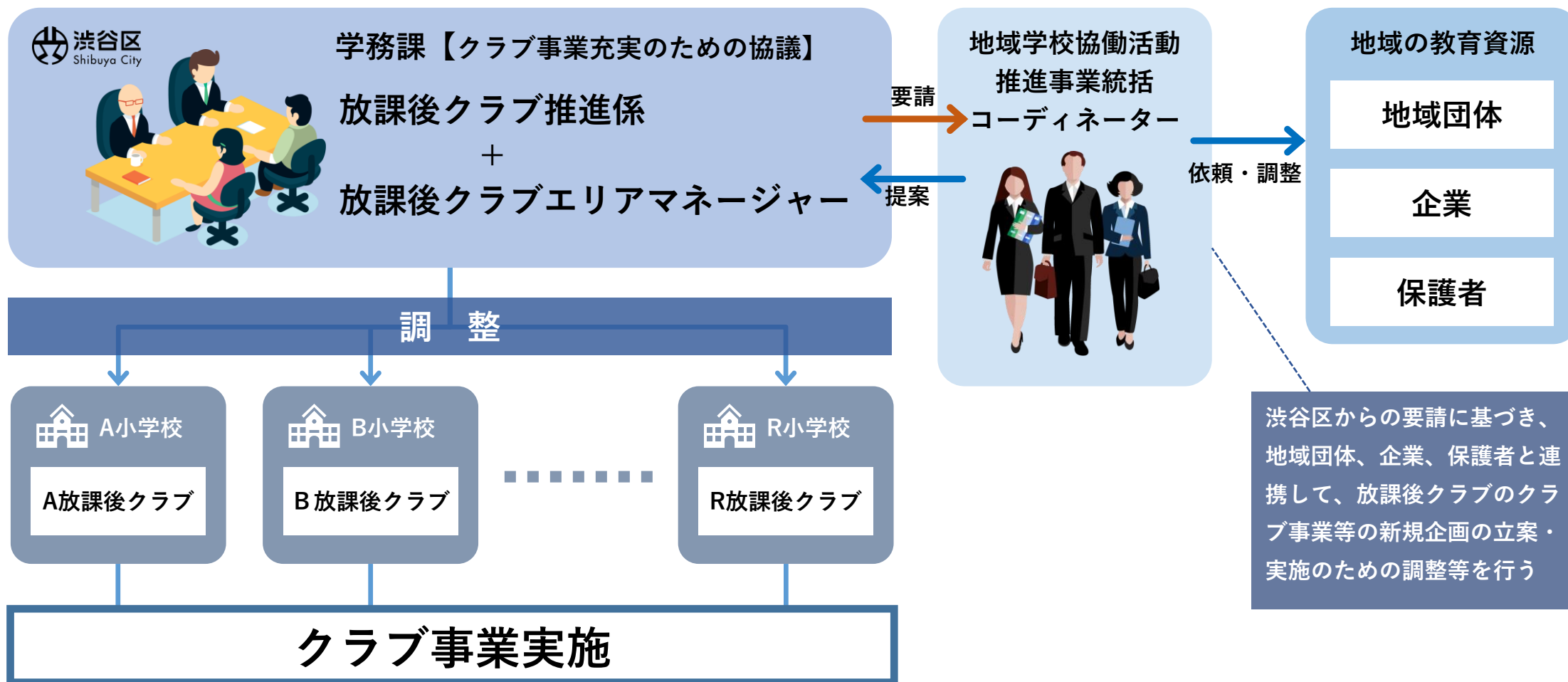


平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
それぞれの成長を、一生よろこべる街へ。		A
事業名		予算
渋谷区立全小中学校のコミュニティ・スクール化		1,250万円
事業目的	事業概要	
<p>学校と地域が同じ立場で連携・協力しながら、地域の人々の理解と協力を得た学校運営を実現するために、コミュニティ・スクールの拡大を図る。</p> <p>コミュニティ・スクールとは、保護者・地域の方々を構成員とする学校運営協議会を設置した学校のことである。学校に係る様々な課題をより幅広い視野で考え、教育活動の支援を進めることで、より「開かれた学校」を作ることを目指すものである。</p>	<p>●区内全公立小中学校のコミュニティ・スクール化</p> <p>小学校では2020年度から、中学校では2021年度から新たな学習指導要領に基づく指導が行われるに当たり、「社会に開かれた教育課程」の実現が求められており、保護者・地域を構成員とする学校運営協議会はその実現に向け、重要な役割を果たすものである。</p> <p>そのため、2019年度末までに、区内全ての公立小中学校を、学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールとし、学校と地域が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる、地域とともにある学校づくりへの転換を図る。</p> <p>●コミュニティ・スクールの活動促進のための支援</p> <p>コミュニティ・スクール化により、地域の様々な分野の教育資源等を活用し、児童・生徒に様々な学習や体験の機会を提供することができる。このような機会を有効に活用するため、学校運営協議会において地域資源を活用した取り組み等について提案、決定があった場合、その取り組み等に係る経費を補助することにより、子どもたちの豊かな学びに繋げることや、コミュニティ・スクールの活性化を図る。</p>	
特記事項	2019年度末までに、区内全ての公立小中学校をコミュニティ・スクール化する。	
担当	教育振興部教育政策担当課長 荒井 3463-2795	関連資料の有無
		無

放課後クラブにおける クラブ事業の充実

放課後クラブにおけるクラブ事業の内容を、地域や民間企業等の協力により、多種多様かつ充実したものとすることで、すべての子どもに“豊かな放課後”を提供する。



平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
それぞれの成長を、一生よろこべる街へ。		A
事業名		予算
放課後クラブにおけるクラブ事業の充実		5億9,100万円
事業目的	事業概要	
<p>平成30年9月に文部科学省と厚生労働省により「新・放課後子ども総合プラン」が策定され、全ての児童を対象とした多様な学習・体験活動のプログラムの充実が望ましいとされた。</p> <p>総合プランの趣旨を踏まえ、安全な学校施設において、地域の教育資源などを活用し、放課後クラブにおける活動プログラムの充実を図る。</p>	<p>●渋谷区放課後クラブ 全ての児童を対象として、安全な学校施設を活用して学校や地域との連携により、児童一人ひとりを健やかに育てていくため、区立小学校全18校にて開設。</p> <p>●活動プログラムの充実 現在放課後クラブにて行っている学習活動やスポーツ活動、文化的活動については、児童・保護者のニーズ等を踏まえ、実施回数、種類、内容の充実を図る。そのため、地域学校協働活動推進事業統括コーディネーターによる新規企画の立案、提案、助言により、教育資源（地域団体、企業、保護者）のさらなる活用を図り、子ども達に豊かな放課後を提供する。</p>	
特記事項		
担当	教育振興部学務課長 齋藤 3463-2984	関連資料の有無
		無

渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツ

プレシニア世代からアクティブシニア世代に向けてニーズの高い情報を発信し、学び、働きによる社会参加等の機会を提供する。社会・地域・人との繋がりを育むハブとなるセンターを設置。

活動の情報がほしい！



趣味や学ぶ楽しみを見つけたい！



仕事や社会貢献がしたい！



一元的情報窓口の設置

渋谷ヒカリエ8階にセンター機能を開設

自分にあった生きがいの発見



渋谷ハチコウ大学開校

大学・企業との連携による独自学位の取得

学びの楽しさ、趣味の発見、新たな人との繋がり



多様な「働く」機会の提供

新たな働き方の紹介
セミナーの開催

経験談の共有、社会参加のノウハウを習得



専用ウェブサイトによる情報発信

情報可視化による参加意欲の喚起


渋谷生涯活躍ネットワーク
シブカツ!

シニアスキルバンク(仮)の登録

スキルを活かした社会活動への参加
マッチング機会の提供



平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。		B
事業名		予算
渋谷生涯活躍ネットワーク・シブカツの開設		6,050万円
事業目的	事業概要	
<p>人生100年時代を展望し、渋谷区に暮らすプレシニア世代からアクティブシニア世代が生涯活躍できるように、新たな活動の場へマッチングを行うセンターを開設する。</p> <p>概ね55歳以上の方を対象に、長期に渡り元気で生きがいを持ち、活躍できることを目的とする。</p> <p>区が実施している講座をはじめとする事業等の情報を、一元的に管理し発信するとともに、新たな学び・就労等の機会を提供する。</p> <p>区民の多様なニーズに個別に対応するため相談窓口を設けて、ベストマッチングを図る。</p>	<p>■「シブカツ」の開設</p> <p>渋谷ヒカリエ8階に情報発信、マッチング、講座開催機能を有した「シブカツ」を開設</p> <p>1 情報の一元化 各事業（各所管にまたがり実施している事業）の情報をシブカツにて一元的に管理し発信する。</p> <p>2 学ぶ《ハチコウ大学の設置》 定年後に自分がやりたいこと、趣味を探す方が多い中、定年後の人生を考えるきっかけとなるよう、区内8大学、民間企業（S-SAP企業）、NPOなどと連携を図り、今までにない新たな学びの場を提供する「ハチコウ大学」を設置する。</p> <p>3 働く 自身のスキルや経験を活用した社会貢献機会の提供。クラウドワーキング、プロボノ、スタートアップ企業アドバイザーなど、新たな活動の場に対してのマッチングを行う。</p> <p>■特設ウェブサイトの開設</p> <p>渋谷区の生涯現役メディアとして、情報を一元化したうえで、ハチコウ大学をはじめとする活動情報の発信やシブカツオリジナルセミナー開催案内等を行う。</p>	
特記事項		
担当	福祉部高齢者福祉課長 小野 3463-1865	関連資料の有無
		無

生活保護受給中の子どもの 学習支援事業

生活保護を受給している子どものいる世帯へ家庭訪問等を通して、子どもとその世帯の双方にアプローチを行い、子どもの将来の自立（貧困の連鎖の防止）を後押し。

生活保護世帯の 子どもの不安

- ・ 親以外の相談相手がいない
- ・ 経済的困難を受け止めている
- ・ 進路の不安
- ・ 勉強の不安
- ・ 学校での人間関係

生活保護世帯の 家庭の不安

- ・ 社会的つながりが希薄
- ・ 健康状態の不安
- ・ 子の進路選択の不安
- ・ 教育資金の不足

子どもと世帯の
双方にアプローチ

家庭訪問による子どもと世帯の支援

家庭内での学習環境や養育状態の実態を把握。
子どもと世帯の生活、日常の学習や進学等心配事の相談に応じる。



公的支援の紹介や、子どもの将来を考えるきっかけ作りを行う。

中学2・3年生へのスタディクーポン

現行の次世代育成支援事業による通塾費用の助成に加えクーポン券を発行し、提携教育機関で通塾等の支援の制度を導入。



子どもの将来の自立
(貧困の連鎖の防止)



平成31年度当初予算案事業シート

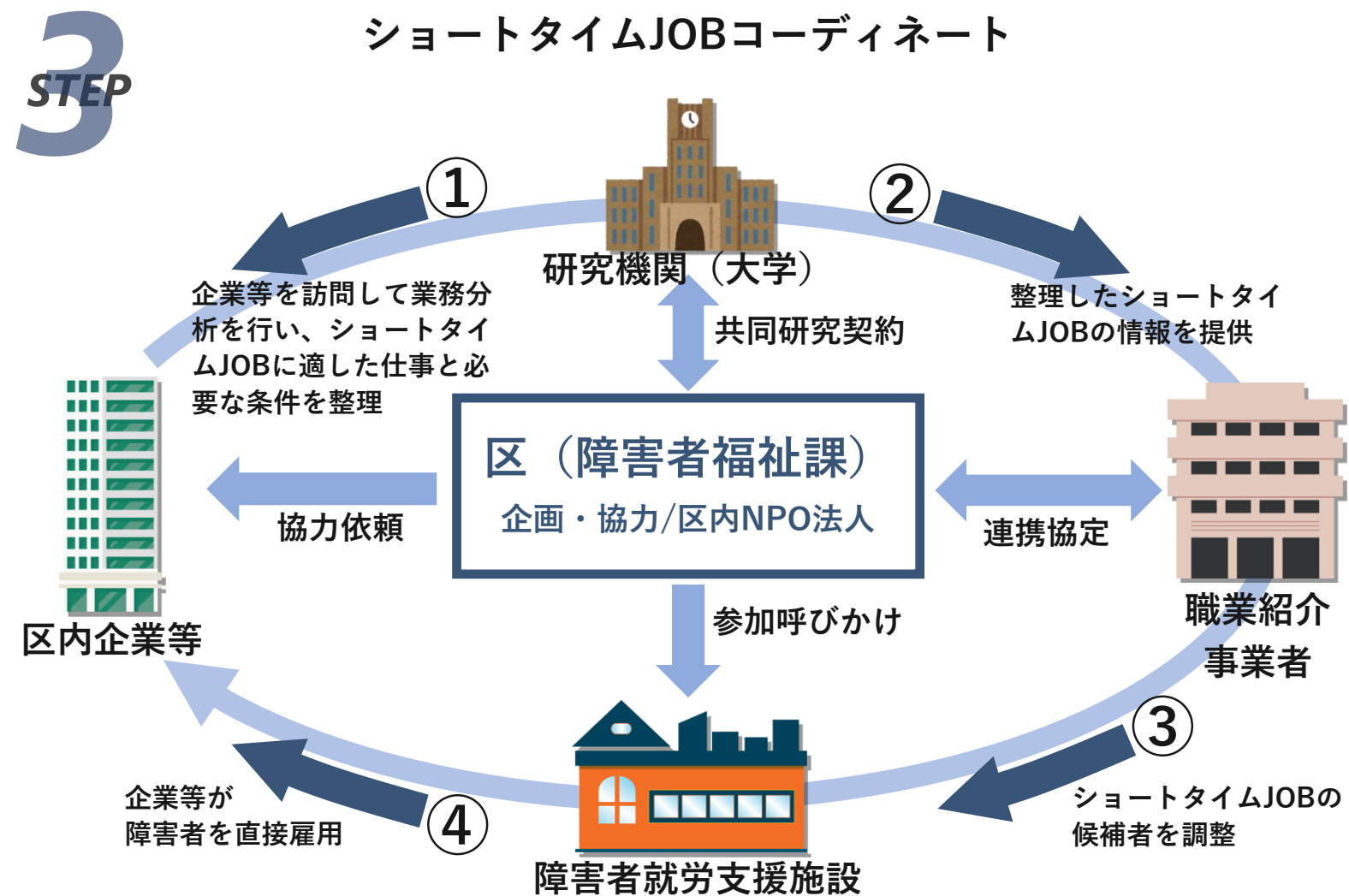
基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。	B
事業名	予算
生活保護受給中の子どもの学習支援事業	600万円

事業目的	事業概要
<p>生活保護受給世帯の子どもの引きこもりや不登校対策及び高校進学に向けた支援のため、下記の2事業を実施する。</p> <p>(1) 親が養育困難な課題を抱える世帯の子どもに対して、引きこもりや不登校に至る前の段階で、早期に支援につなげるために、対象世帯にアウトリーチを通じて、子どもと養育者の双方にアプローチを行う事業を実施する。</p> <p>(2) 現在、領収書清算で支給している通塾費用の助成に加え、中学2年生及び3年生を対象にスタディクーポンによる通塾費用の支援を実施する。</p>	<p>●事業の概要</p> <p>(1) 子どもの学習支援事業</p> <p>対象：生活保護受給世帯で、親が養育に課題を抱えている、またはその可能性がある小学1年生から中学3年生の児童・生徒</p> <p>概要：親が養育困難な課題を抱える小中学校の児童・生徒が、引きこもりや不登校となることを未然に防ぐため、家庭訪問等のアウトリーチを実施する。アウトリーチを通して、世帯の生活状況を把握し、子どもと養育者の双方にアプローチを行う。</p> <p>子どもには、早期に家庭や学校以外の場での学習機会の提供や、将来の進学に向けた生活習慣の形成につながる支援を実施する。また、子どもの養育に関心の薄い親にも、公的支援の情報提供等を行い、子どもの将来の生活を考えるきっかけづくりを支援する。</p> <p>関連法令：生活困窮者自立支援法の子どもの学習支援事業（国庫補助率1/2）</p> <p>(2) スタディクーポン事業</p> <p>対象：生活保護受給世帯の中学2年生及び3年生</p> <p>概要：現在、生活保護受給世帯の子どもに、次世代育成支援事業による通塾費用を助成している。スタディクーポン事業では、この助成に加え、中学2年生及び3年生を対象にクーポン券を発行し、提携教育機関でクーポン券を利用して通塾等の教育支援を受けることができる。</p> <p>支援上限額：中学2年生 年額10万円、中学3年生 年額15万円</p>
特記事項	

担当	福祉部生活福祉課長 金子 3463-2029	関連資料の有無	無
----	------------------------	---------	---

障害のある人の 就労支援・雇用拡大

一般就労を目指す人に向けて、多様な働き方として「区役所内実習」「臨時職員雇用」「ショートタイムJOBコーディネート」という3段階のパッケージを構築。



平成31年度当初予算案事業シート

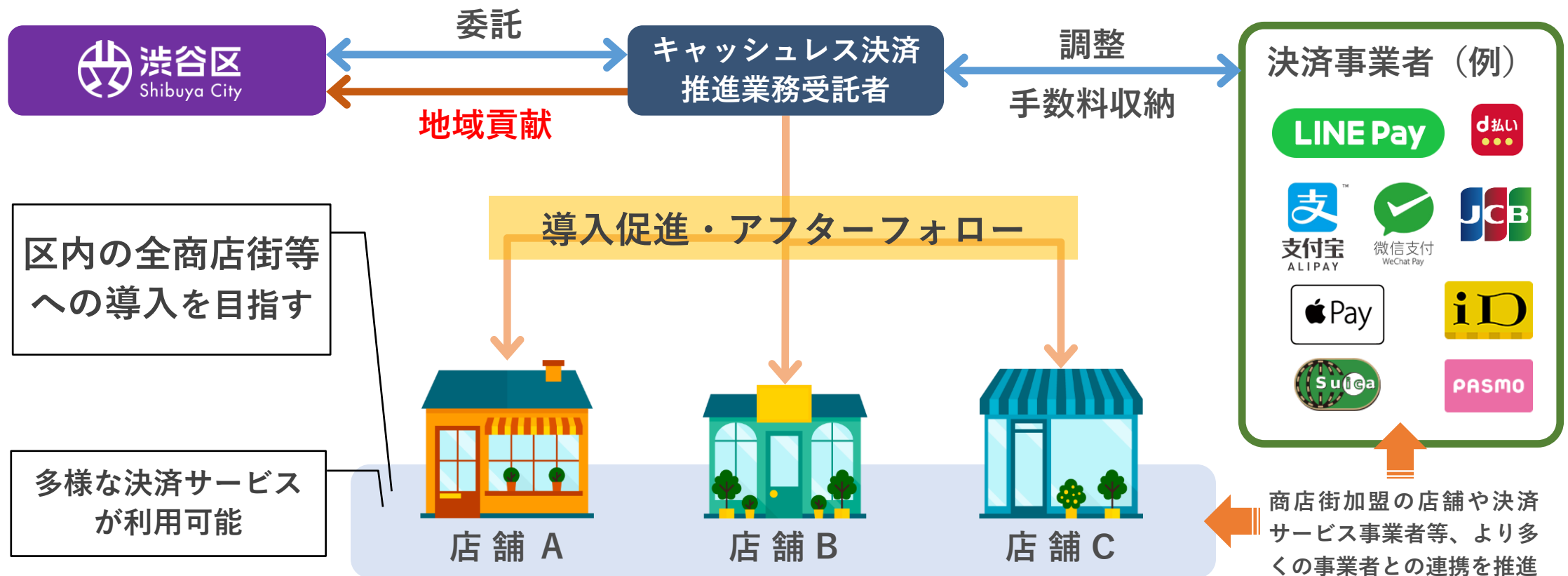
基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
あらゆる人が、自分らしく生きられる街へ。	B【H】
事業名	予算
障害者就労支援・雇用拡大事業	1,450万円

事業目的	事業概要
<p>区の『障害福祉推進計画』（2018～20年度）では、重点施策「障害のある人が働きやすい環境づくりの促進」を掲げている。その実現に向け、それぞれの障害の種別や状況に応じて多様な働き方を選択することができるよう、区役所での「臨時職員雇用」を拡充する。それに加え、民間企業等における「超短時間労働（ショートタイムJOB）」の導入を支援するため、「人」と「仕事」をマッチングする新事業を開始する。</p>	<p>1 臨時職員雇用の拡充</p> <p>(1) 対象者 一般就労を目指して障害者就労支援事業所や障害者就労支援センターを利用している人 (2) 雇用人数 5人（予定） (3) 選考方法 書類審査、面接、実技試験 (4) 勤務条件 時給993円、勤務日数・時間等は本人希望や事業所意見を踏まえ決定 (5) 業務内容 郵便物の仕分け・発送、書類整理、簡易なデータ入力、その他事務補助 (6) その他 平成30年度は2名を雇用（2019年1月から）、平成31年度は仕事のサポートやアドバイスを担うジョブコーチ（非常勤職員）を配置</p> <p>2 ショートタイムJOBの導入支援</p> <p>(1) 支援内容 ショートタイムJOBコーディネーターが、企業等を訪問してショートタイムJOBに適した仕事と条件を整理し、区内の障害者就労支援施設等へ求人情報を提供して就労希望者を募り、応募者と仕事のマッチングを行う。企業等での採用決定後は、職場訪問等を通じたアドバイスや、就労定着に向けたアフターフォローも行う。</p> <p>(2) 実施方法 職業紹介事業者への業務委託を予定</p>
特記事項	
<p>都内初の試みとして、障害者法定雇用率の対象外である週20時間未満の労働にターゲットを絞って「人」と「仕事」のマッチングを図るショートタイムJOBコーディネート事業を本格実施する。</p>	

担当	福祉部障害者福祉課長 原 3463-1916 総務部人事課長 鴨井 3463-1347	関連資料の有無	無
----	---	---------	---

キャッシュレス決済 導入促進事業

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた外国人観光客の受入環境の整備及び商店街活性化のため、商店街等におけるキャッシュレス決済の導入を促進する。



キャッシュレスシティ・SHIBUYAの実現へ

平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
ビジネスの冒険に満ちた街へ。	G
事業名	予算
キャッシュレス決済導入促進事業	4,900万円

事業目的	事業概要
<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を翌年に控え、インバウンド受入れ環境の整備や本年10月の消費税引上げなどへの対応が商店街の喫緊の課題となっている。</p> <p>このような状況の中で、商店街のさらなる活性化を促し、渋谷区らしい魅力を創出していくためには、インバウンド、および、国の景気対策に伴う日本人のキャッシュレス決済の増加に対応し、消費喚起ならびに消費行動につなげていくことが重要である。</p> <p>キャッシュレス決済の導入促進にあたっては、店舗の不安と負担を軽減するため、国等の補助制度の活用も検討しながら、導入に係る経費等に加え、決済端末の操作や活用方法など丁寧なサポートとフォローアップを行う。</p> <p>QRコード決済を中心に多様な決済手段への対応を推進し、地域全体へ普及していくことで、2020年以降も、国内外の来訪者や区民等から「選ばれるエリア」の土台を創る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●事業期間 2019年4月1日～2020年3月31日 ●事業規模 2019年度：約500台を導入 ●事業対象 主に商店会に加盟する中小・小規模事業者等 ●事業フロー <p>実態調査</p> <p>説明会・各店舗説明</p> <p>導入に係るサポート</p> <p>活用サポート・アフターフォロー</p> <p>決済端末補助・機器設置・操作説明等</p> <p>個別サポート・その他問い合わせ対応・効果検証等</p>
特記事項	

担当	区民部商工観光課長 本間 3463-1761	関連資料の有無	無
----	------------------------	---------	---

2020年に向けた、 気運醸成とおもてなし事業

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、渋谷区全域で祝祭感を醸成し、競技会場を満員にして、選手と来訪者を笑顔でおもてなし。

リアル観戦（ハンドボール）



リアル観戦と“応援の仕方”を学ぶ



競技大会で選手を応援、おもてなし



500
日前

1
年前

100
日前

2018

2019

2020 東京大会

● 大会マスコット発表

● 渋谷区文化プログラム

● オリンピック
パラリンピック
チケット販売開始

● シティドレッシング

● 来街者・来訪者へのおもてなし

おもてなし講座



原選手、大日方氏
を交えてトーク
セッション



区内の大学と連携した
イベントの実施

区内の公共施設を活用した独自の“お休み処”や、新宮下公園に“コミュニティライブサイト”を開設。

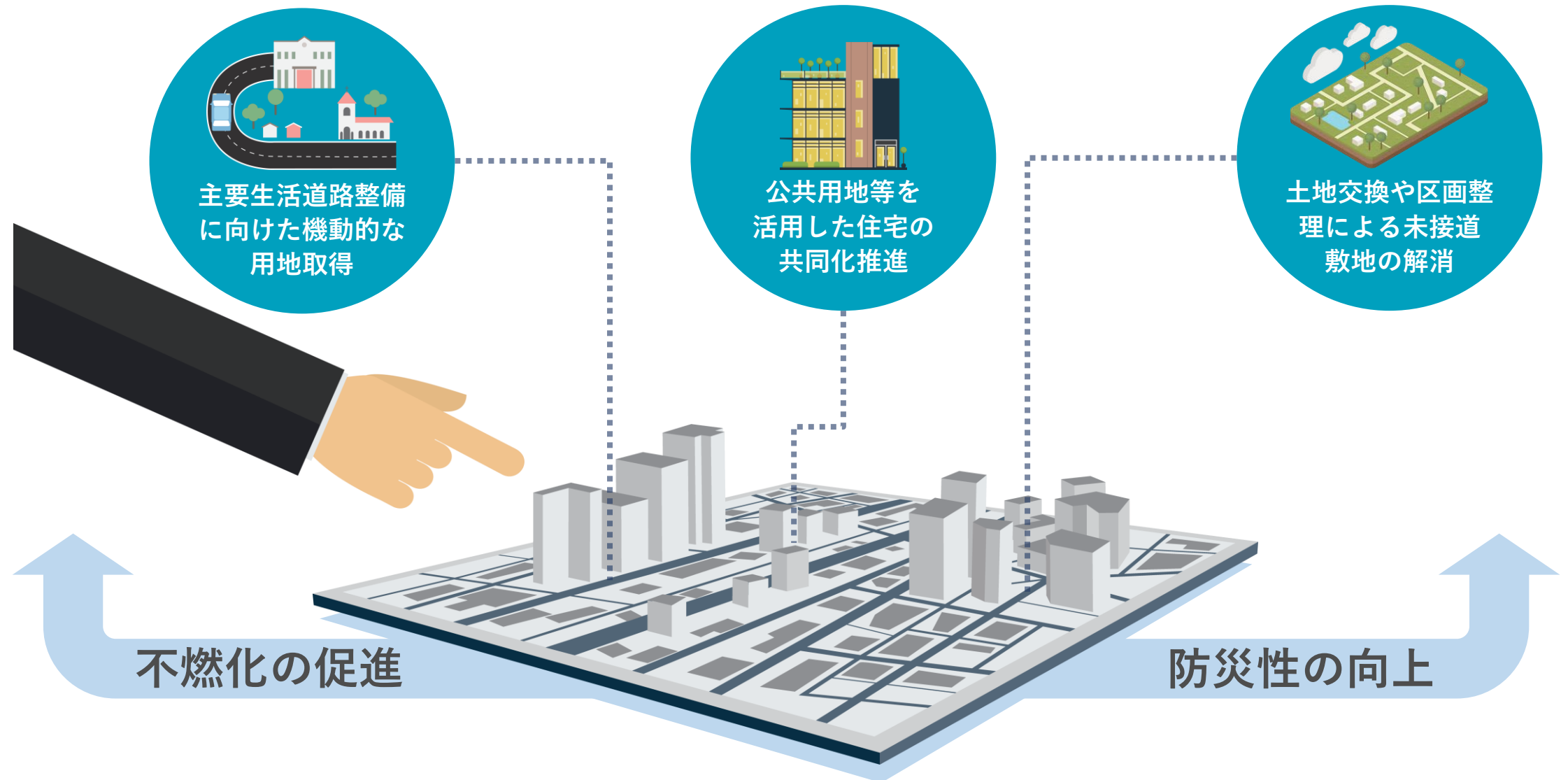
平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】
思わず身体を動かしたくなる街へ。		C
事業名		予算
オリンピック・パラリンピック関連事業		7,000万円
事業目的	事業概要	
<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、渋谷区内開催競技を中心に気運醸成事業をより一層推進する。</p> <p>同時に、2020年の大会期間等における街の祝祭感や歓迎ムードの醸成、来訪者への独自のおもてなし活動に対する準備を進めていく。</p>	<p>1 気運醸成事業 【拡充】</p> <p>(1) リアル観戦事業</p> <p>① 期間...2019年6月～12月 6回（区内及び隣接会場で開催される6競技）</p> <p>② 会場...渋谷区スポーツセンター他</p> <p>③ 内容...最高峰のプレイを観戦・応援し、選手やルールを知り、競技を体験する。</p> <p>*一部競技は、区内で開催予定の「国際大会」を観戦・応援するとともに、大会の気運醸成を図る。</p> <p>(2) その他</p> <p>① 庁舎15Fスペース428を活用した各競技の展示会・ミニ体験会等の開催。</p> <p>② トップアスリートによるフェンシング体験・応援事業（仮称）の開催。</p> <p>2 文化プログラム 【拡充】</p> <p>(1) 日程...2019年8月24日（土）*パラリンピック開催1年前イベントとして</p> <p>(2) 会場...国連大学</p> <p>(3) 内容...多様な個性が交じり合う文化・音楽・アート・ファッション等の様々なコンテンツを実施し、ちがいを笑顔でつないでいく。企画・運営には区内の大学連携による若者の参画を得る。</p> <p>3 区独自ボランティア制度 【拡充】</p> <p>(1) 登録者数...126人（2019年1月現在）</p> <p>(2) 内容...2020年の区独自のおもてなし活動に備えるため、ボランティアの発掘・登録を行い、気運醸成事業等での活動や研修を重ねていく。また、登録者の活動に係る保険加入を行う。</p>	
特記事項	<p>・渋谷区独自の気運醸成事業により、区内競技会場を満員にして、選手を応援・おもてなし。</p> <p>・渋谷区独自のおもてなし活動を行い、来訪者を笑顔でおもてなし。</p>	
担当	区民部オリンピック・パラリンピック推進課長 田中 3463-1593	関連資料の有無
		無

本町地区防災都市づくり ランドデザインの策定

本町地区の木造住宅密集地域における防災性の向上のため、包括的な防災まちづくりの施策を新たに展開するランドデザインを策定。

防災まちづくりの意識を変革する「ランドデザイン」を検討



平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
人のつながりと意識が未来を守る街へ。	D
事業名	予算
(仮称) 本町地区防災都市づくりグランドデザイン	2,200万円

事業目的	事業概要
<p>本町地区の防災まちづくりとして、これまで取り組んできた木造住宅密集地域における事業や防災街区地区計画によるまちづくりに加えて、環境や地域コミュニティにも配慮した街の総合的な「防災都市づくりグランドデザイン」を検討・策定し、よりスピード感を持って地域の防災性を向上させるための取り組みを進めていく。</p>	<p>●事業スケジュール</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 検討期間 2019年度～2020年度 2 実施期間 2021年度～ <p>●事業対象</p> <p>本町一丁目～六丁目地区</p> <p>●実施方法</p> <p>本町地区における防災まちづくりの次のステップとして、包括的な防災まちづくりの施策として専門家等の意見を聴取するための体制を構築し、主に以下の事項について検討を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要生活道路の拡幅整備に向けた土地の機動的な用地取得 ・土地交換や区画整理等による未接道敷地の解消を促す土地利用の再編 ・地区内の区有地活用や公共施設の再編等を含めた土地利用の総合的な事業推進 <p>さらに、環境や地域コミュニティにも配慮した施策として展開するため、地域住民や本町まちづくり協議会との意見交換を進めながら総合的な「グランドデザイン」として策定する。</p>
特記事項	
<p>本町地区における防災まちづくりの意識を変革する新たな取り組み。</p>	

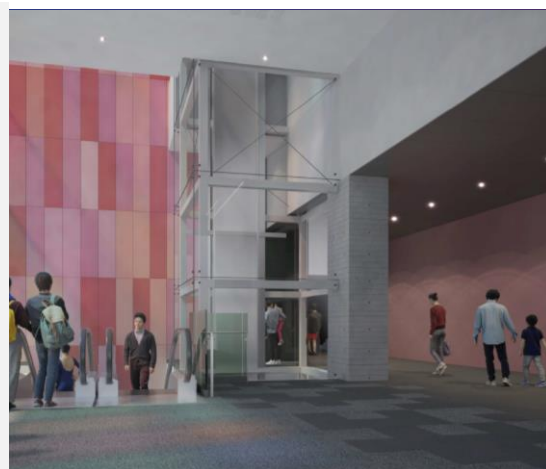
担当	都市整備部まちづくり課長 齋藤 3463-2641	関連資料の有無	無
----	---------------------------	---------	---

新・渋谷公会堂の開設

あらゆる世代が多様な文化に親しむ機会を提供し、新たな文化を生み出し続けるシンボルとして、渋谷カルチャーの進化と世界への発信拠点となる渋谷公会堂を開設。

変化のある表情

公園通りに面した外装はステンドグラスのようにカラーガラスを通した光によって様々な表情を演出



指定管理者

渋谷公会堂プロジェクトチーム

- 株式会社アミューズ(代表企業)
- LINE株式会社
- 株式会社パシフィック
- アートセンター

ネーミングライツプロモーションパートナー

LINE株式会社

次世代型の公共ホール



様々なメディアを通じた情報発信



多様な世代に対応したチケット方式の採用

劇場の赤

旧公会堂の赤のイメージを継承しつつ、座席1つ1つの色に変化をつけて大きな絵が描かれたようなホール



平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン	ビジョン【関連ビジョン】
新たな文化を生みつづける街へ。	F
事業名	予算
新・渋谷公会堂の開設	2億700万円

事業目的	事業概要
<p>あらゆる世代の区民が多様な文化に親しむ機会を提供するとともに、本区の持続的成長・発展の柱の一つである渋谷カルチャーの進化と世界への発信拠点として渋谷公会堂を開設する。</p>	<p>指定管理者によるインターネットを活用した情報発信や、チケット電子化への対応などにより、区民等から一層利用しやすく、愛される最先端の次世代型公共ホールを目指していく。また、ネーミングライツの導入により、新たな財源確保を図りつつ、民間活力を効果的に活用していく。</p> <p>●開館までの予定 2019年2月1日 指定期間の開始 ※以降順次、専用HPを立ち上げ、受付等を開始 2019年5月末 新・渋谷公会堂の竣工 2019年6月1日 ネーミングライツ（命名権）の使用開始予定 2019年秋 開館</p> <p>●指定管理者 渋谷公会堂プロジェクトチーム 構成団体：株式会社アミューズ（代表企業）・LINE株式会社・株式会社パシフィックアートセンター 指定期間：2019年2月1日～2029年3月31日（10年2ヵ月）</p> <p>●ネーミングライツプロモーションパートナー LINE株式会社 ※命名権の使用期間、施設のネーミング、ネーミングライツ料については、協定の締結等により確定していく。</p> <p>●施設概要 所在地 渋谷区宇田川町1-1 席数 全1,956席（オーケストラピット126席含む） 1階 1,180席／2階 424席／3階 352席 構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造地上6階 地下2階 塔屋1階 延床面積 9,712.89㎡ 建物の高さ 地上より31.95m</p>
特記事項	
<p>ネーミングライツ事業者（以下「ネーミングライツプロモーションパートナー」）が指定管理者の構成団体になっており、両者による緊密な連携が図られた効果的な事業運営が期待できる。</p>	



担当	区民部文化振興課長 可部 3463-1141	関連資料の有無	無
----	------------------------	---------	---

平成31年度当初予算案事業シート

基本構想ビジョン		ビジョン【関連ビジョン】	
計画の実現と持続可能な行財政運営		H	
事業名		予算	
区議会のICT化		980万円	
事業目的	事業概要		
<p>新庁舎移転を好機として、国際都市渋谷にふさわしい区議会のICT化に取り組むものであり、ICT導入の目的は、次の3項目とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①資料のペーパーレス化による議会運営の効率化 ②議会運営の活性化 ③議員の十分な能力発揮 	<ul style="list-style-type: none"> ●区議会ICT化の導入時期 <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年第4回定例会から試行開始予定。 ●導入内容 <ul style="list-style-type: none"> ・全議員にタブレット端末を貸与し、事業目的のためのツールとして活用する。 ●電子データ化する資料の範囲 <ul style="list-style-type: none"> ・本会議や委員会における議案及び参考資料、さらに他の議会や自治体からの通知や案内のすべてを対象とする。 ・理事者等の出席説明員については、区長部局から貸与されたノートPC持参を想定。 		
特記事項			
<p>議会ICT推進検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月14日幹事長会で設置決定 ・副議長を座長とする議員10名で構成 ・平成29年9月から平成30年11月までに12回開催 ・利用開始に合わせて、運用ルールについて協議し、決定予定 			
担当	区議会事務局次長 野島 3463-1093	関連資料の有無	無

資料集

財政規模

(単位：百万円・%)

区 分	平成31年度	平成30年度	増減額	増減率
一般会計	92,395	93,768	△ 1,373	△ 1.5
特別会計	44,691	44,597	94	0.2
国民健康保険事業会計	23,503	24,096	△ 593	△ 2.5
介護保険事業会計	15,590	14,975	615	4.1
後期高齢者医療事業会計	5,598	5,526	72	1.3
合 計	137,086	138,365	△ 1,279	△ 0.9

歳入内訳

(単位：百万円・%)

区 分	平成31年度		平成30年度		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
特別区税	50,835	55.0	49,092	52.3	1,743	3.6
地方譲与税	407	0.4	379	0.4	28	7.4
地方消費税交付金	6,936	7.5	6,943	7.4	△ 7	△ 0.1
地方特例交付金	56	0.1	52	0.1	4	7.4
特別区交付金	3,000	3.3	2,000	2.1	1,000	50.0
分担金及び負担金	1,015	1.1	1,110	1.2	△ 95	△ 8.5
使用料及び手数料	5,996	6.5	5,473	5.8	523	9.5
国庫支出金	12,514	13.5	11,925	12.7	589	4.9
都支出金	6,900	7.5	6,256	6.7	644	10.3
繰入金	0	0.0	6,000	6.4	△ 6,000	皆減
繰越金	1,141	1.2	1,371	1.5	△ 230	△ 16.8
その他の歳入	3,595	3.9	3,167	3.4	428	13.5
合 計	92,395	100.0	93,768	100.0	△ 1,373	△ 1.5

歳出内訳（一般会計）款別内訳

（単位：百万円・％）

区 分	予算額	構成比	予算額	構成比	増減額	増減率
総務費	14,630	15.8	17,101	18.2	△ 2,471	△ 14.4
民生費	46,836	50.7	46,804	49.9	32	0.1
衛生費	4,313	4.7	3,858	4.1	455	11.8
環境費	4,462	4.8	4,489	4.8	△ 27	△ 0.6
産業経済費	838	0.9	794	0.8	44	5.5
土木費	8,477	9.2	7,883	8.4	594	7.5
教育費	9,939	10.8	9,624	10.3	315	3.3
公債費	1,782	1.9	1,890	2.0	△ 108	△ 5.7
その他	1,118	1.2	1,325	1.5	△ 207	△ 15.6
合 計	92,395	100.0	93,768	100.0	△ 1,373	△ 1.5

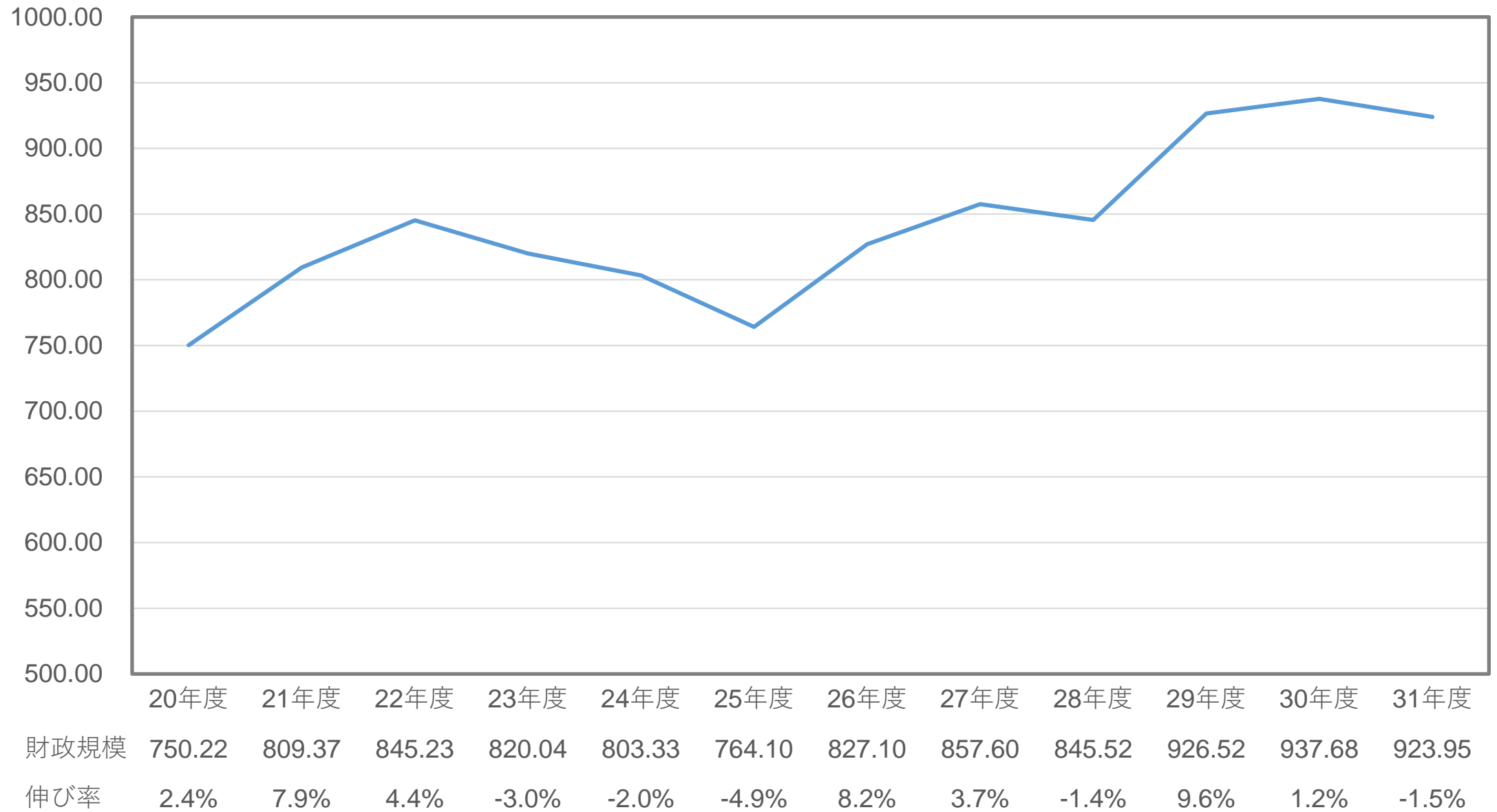
歳出内訳（一般会計）性質別内訳

（単位：百万円・％）

区 分	平成31年度		平成30年度		増減額	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
義務的経費	44,675	48.3	44,220	47.1	455	1.0
人件費	18,629	20.1	18,388	19.6	241	1.3
扶助費	24,264	26.3	23,942	25.5	322	1.3
公債費	1,782	1.9	1,890	2.0	△ 108	△ 5.7
普通建設事業費	9,223	10.0	11,820	12.6	△ 2,597	△ 22.0
その他の経費	38,497	41.7	37,728	40.3	769	2.0
物件費	23,652	25.6	22,498	24.0	1,154	5.1
補助費等	6,878	7.4	6,736	7.2	142	2.1
繰出金	6,653	7.2	7,130	7.6	△ 477	△ 6.7
その他	1,314	1.5	1,364	1.5	△ 50	△ 3.7
合 計	92,395	100.0	93,768	100.0	△ 1,373	△ 1.5

一般会計財政規模の推移

(単位：億円・%)



平成31年度（2019年度）

渋谷区 当初予算案の概要

平成31年2月4日

記者発表資料

渋谷区 広報コミュニケーション課

TEL 03-3463-1287

✉ sec-koho@shibuya.tokyo

<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/>